２００４年５月の日記
土曜日だ
20040501
　今日から五月、今日はレイバーズ・デイ、正午のニュースは式典の放映。

　昨晩はN氏宅で、G氏の送別を兼ねた単身者・独身者の宴会。でも、土曜日にあると聞いていたので、カレーを作って腹いっぱい食べた後に、電話で呼ばれて参加。折角の料理が食べきれなかった。カレーは台所に残してあったカレー粉と、スーパーで買ったシチュー用のスパイスミックスをスプーン１杯に山盛り入れて、それに醤油をスプーン１杯とマギーブインヨン１個を追加して味付け。ちゃんと食べられるものになったつもり。宴会では、当地のいろいろな話を聞いた。空一杯の星のこと、マゼラン星雲が見えること、車を運転する時にキャブレターに水を絶対に入れないこと、等々。

　今日の午前中は、Ｓ氏の車でタウンへ出かけて、徒歩で商店街をまわった。市の中心部にあるミニバスターミナルから、露天商の群れを抜けて、電気製品のパーツや自動車部品、衣料品、小さな食堂の集まった雑居ビルに入った。G氏によると電子部品が必要ならここでさがすといいとのこと。やっと当地の様子が垣間見えてきたかも。６畳ほどの大きさの小さな店がビル内に沢山あった。電気製品を分解して取り出したパーツや、ＩＣ，ＬＳＩ，自動車やオートバイの交換用パーツなどを売る店が雑然と入っていた。階段は段毎に違う高さで、壁はどこも平坦ではないし、鉛直とか直角という概念を無視して建物は広がっている。来週もここか、近くまで出向いて見積もりをお願いしなければならないな。道路を歩いているうちに、口の中が砂でじゃりじゃりになった。乾季は砂埃がひどいようだ。

　Ｓ氏と雑談しながらも、ここの国情が分かるのは２・３年では無理だなと痛感。収入の格差があまりにも大きくて、当地の人とよほど親密にならない限り実情は把握できそうもない。

　ドルを両替するなら、銀行よりタウンがレートが良いとのこと。ＰＬＵＳのＡＴＭで引き出すのはあまり勧められないとのことであった。

　少々緊張しつつも、なるほどと思いながらすごした午前中であった。車を止めるならショップライトかファーマーズハウスの駐車場と分かった。無事に戻ってこられてＳ氏に感謝。駐車場代、コーヒー代ありがとうございました。

自動車でショッピング
20040502

　今日は、寝坊しようと思ったのに６時前から洗濯を始めた。布団の代わりにしてるベッドカバーをバスのお湯で洗って脱水。ついでにシーツも。砂でじゃりじゃりしてきたから、今晩は快適だろう。

　やっと、一番近いショッピングセンターまで車で行けた。開店の９時前についたけど、ラウンドアバウトもなんとか通過。ＳＶとしては運転するのが遅いほうだろうな。先進国で使う日用品の値段は、ここでは先進国以上で品質が今ひとつなのが困るところ、今日は殺鼠剤、蚊取りマット、ポリエチレンラップを見つけたので買った。工業製品は南アからほとんどが輸入されているとのこと。ラップなどは一度品切れになってしまうと、次に輸入されるまで手に入らないそうだ。だから、あるときに買ったのだけど、もう数本しか残っていなかった。しかも高い。

　庭師が日曜には散水した方が良いとのことで、３０分ほど散水。この家は、基礎のコンクリートにそって植栽がしてあるが、ネズミとアリのことを散々他のＳＶに言われたので、乾季のうちにとってしまおうと思っている。（ネズミはあるＳＶの職場で配線を食いちぎったそうだ。こちらのアリは砂糖に見向きもせずに蛋白質によってくるとさ）

　午後は、徒歩でムルングシから出て、近くの中華料理店までU氏が作ってくれた地図をたよりに歩いた。往復で１時間半位のんびり散歩。日差しが強いけど乾燥していた。未舗装の所は、赤い細かな粒の土。ここは、首都で、しか

もタウンシップ（高級住宅地）に指定されているところを歩いているのだが、主要道路をはずれるとこんな調子。

明日は、憲法記念日だが、こちらはもちろん仕事です。（J***事務所はお休みですが）
写真は、借家の台所と、こちらでは炒って食べちゃうクビキリギリス？　それと散歩した道。

カメレオン
20040503

今朝は眠かった、でも５時４５分には起きて、７時２０分には出かけた。庭師の買い物のためタウンへ寄り道、その後ＮＳＣに向かうが１０分ほど８時を過ぎて到着。まだ、職場の時間帯が体にしみこまないが、職員も８時過ぎに到着したり、５時前に帰ったりである。ＮＳＣのバスの都合なので、そのへんは流動的なのかもしれない。今日も、自分の到着後に、自家用車に乗りあって５名の職員が到着した。

午前中に、ＮＳＣの親睦会費に相当するお金をチョンゴ氏に納めにいった。その時に、これから J***業務費の見積りをとらないといけないと話したら、ＮＳＣの購入担当のオフィサーを呼んでくれて、その人に見積り資料渡して、どの店と交渉すれば良いか教えてくれることになった。

彼が書類を作っている間に、所内を散策。初めて屋上に上って写真をとった。アフリカじゃ！という感じ。いつものように、空がずっと遠くまで見えた。ただし、ここの階段は木製で朽ちかけていた。あるＳＶは、当地ではシロアリの害があるので、木で階段は作らないとのことだったが、ここは木の屋外階段だった。

１３時前にくだんのオフィサーが来室。細かな物品に関しては、木工担当の職員の助言を貰いながら見積り依頼書の案をつくっていく、こちらもＰＣで一応自分なりに依頼書を作成しておくが、明日はそれらを持ってタウンを散策することになった。

午後は、書類の整理を続けて、室内の改装の案を考えた。英単語をＰＣの辞書と電子辞書でチェックしながらやると、どんどん時間がたってしまう。５時少し前（みんな帰る準備をし終わっていた）に帰途についたが、初めてほとんど終日仕事場にいることができた。昼食時にはメイドさんが来るので、ムルングシに帰ったが、その時は自分で運転もできた。やっとこちらでの１日の時間配分が見えてきた感じであった。

帰宅して、しばらくしたら庭師がカメレオンを捕まえたとのこと。写真にとった。飼って見たいが、もう少し余裕が出てからにしたい。活餌が必要だからな。庭師によるとカメレオンは子供を産むとか？まあ、ちゃんと調べて、いろいろ勉強してから判断しよう。

ところで、こちらのテレビはＺＮＢＣとクリスチャンチャンネル（布教ばっかり）が中心。前者もニュースと映画以外は同じ物を繰り返して放映する。でも、日本の紹介ビデオを見るとなかなかおもしろい。東北の紹介では、冬に和紙製の熱気球を沢山飛ばすお祭りを紹介していた。知らなかった祭りだったので興味深かった。（これも２回見た）

タウンは疲れる
20040504
　今日は消耗品や文房具、木材、ペイントの見積りをとりにタウンへ出かけた。
　庭師が種や肥料が必要とのことで、同行してもらった。
　まず、ＮＳＣに向って、購入担当のオフィサーを探すがまだ来てない。結局、１時間ほど彼を待ってから出発。出発まで、彼はパンをかじっていた。

　タウンでは、文房具の見積りをとっていたらＳＶのＵ氏とばったり出会った。先日Ｕ氏作成のルサカ市内の地図を見たが、実に精巧にできていた。
　驚くことに、１００万都市？のはずなのに、信号が数えるほどしかないが、Ｕ氏の地図にはその信号もすべて表示されていた。

　結局、文房具店を３軒、金物店（ハードウェア店）を３軒、木材を２軒まわって見積もりを貰った。
　こちらでは､持参したリストを店員が見ながら､カーボン紙をはさんだ帳面に一点ずつ見積もり金額を書いていく。だから、品数が多いと何十分も店で待つことになる。スーパーにはバーコードの読み取り機はあるんだけどね。この見積りは付加価値税免除の書類の元になる。

　午前中は、これで打ち止めにしたが、実験材料は残ってしまった。一旦ＮＳＣに戻ってオフィサーを下ろした後、庭師が欲しがっていた種子を買って、借家に戻ってドライバーと庭師を休養させた。肥料（鶏のドロッピング）は明日、ドライバーに買いに行ってもらうとの事であった。

　食事の後、ムルングシ村のオフィスに出向いて、４月１９日に出したレターの件を聞いた。使用人用に水道をつけること、テーブルとイスを用意すること、倉庫に照明をつけることを要求したレターだ。ディレクターがいたので、彼に直接レターのことを聞いた。その場で、メインテナンス責任者に電話してくれた。
　レターの写しはコピーをとられて、ディレクターが保管するようだった。メインテナンス主任が山積みになった机やテーブルとイスを見せて、これとこれでよいかというから、ＯＫした。そのほかのこともなんとか進みそうだ。

　その後、J***事務所に行ったら、英語のレッスンは明日とのこと。うーん、手帳の内容と違う。それ以外の書類の相談をして、早々に退散。
　結局、初めて貰った公共料金の請求書であるインターネットプロバイダの料金を支払いに行き、実験材料の見積りを一件とって、今日の作業は終了。

　またガソリンの残量を心配しないといけない。ドライバーはショックアブソーバーを交換したいと言ったが、１９９１型のサニーに必要無いと断った。彼にとっては、車をうつくしく保つのが仕事の一番の使命のようだが、今のところ乗り心地に問題は無いので、当面は支出しないつもり。
　それにしても、タウンは疲れる。

子供の日
20040505
　日本では子供の日、こちらは若者の日というのはあるそうだが、子供の日は無いとか。

　ＮＳＣで、発注用の見積書の整理、オフィスの整備案、そんなことをしているうちに１３時になった。他のシニアオフィサーと顔をあわせるたびに、これからの予定を簡単に説明する。なんとか、自分の部屋に作り直してから作業を始めたい。そうこうしているうちにドライバーが顔を出した。彼には、庭の肥料を買ったら、そのまま庭師と食事をして、２時までＮＳＣ戻ってこないように伝えたのに。これでは、ＮＳＣと借家を１日に３往復することになってしまう。ガソリンの無駄になってしまった。

　その後、今日も１５時から２時間英語の個人レッスン。今日は、レポートの書き方。形式を丁寧に説明されたが、一度では頭に入らない。でも、宿題を出されてもやりきれないな。

　夕方、暖炉の薪を集めていたら、小さなカエルを発見。日本のヒキガエルそっくり、しばらくみていたら、薪の中にもぐっていってしまった。明日の天気予報では最低気温１１℃、最高２６～２８℃。朝晩は、とてもすずしいです。

ネットがつながらないことは普通らしい
20040506

こちらについて一ヶ月、今日U氏に散歩の時に言われるまでわからなかった。これじゃ、あっという間に２年間たってしまう。

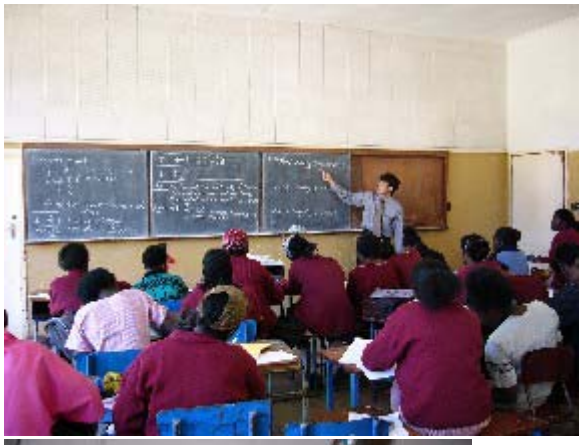
今日は、ジュニアボランティア（協力隊員）が研修をしているカブロンガ女子高に、彼らの授業を見学に行った。１０日までこちらの学校は学期間の休みなのだが、登校している生徒を対象に理数科教員予定者は授業を３回、それ以外はプレゼンテーションをするそうだ。また、当地の先生の授業も見学できた。　ＨＩＶ／ＡＩＤＳと障害児教育のプレゼンテーションを見学したが、どれも工夫に富んでいて脱帽であった。外国語で自分の考えをはっきり伝えていて感心した。

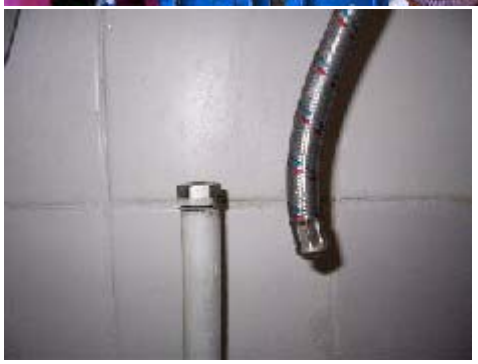
ＮＳＣにもどると、シニアオフィサーのチョンゴ氏が訪ねて来た。ＮＳＣの車両が不具合なので、教育省までつれていってほしいのとのこと。ＮＳＣには、ミニバス１台、ランドローバー１台（１９９０年代のユネスコの寄付)、ピックアップ１台、カローラ１台があるのだが、慢性的に燃料不足・整備不良である。またドライバーは２人だけだ。結局、快く引き受けた。官庁街まで行って、教育省でチョンゴ氏は仕事をすませた。彼は、以前カーペンターの指導にあたっていたり、建設会社に勤めていたのだが、こちらで木工の責任者になったそうだ。若い頃は農業を目指していたが、途中で変更したとか。これからもお世話になるだろう。

午後は英語のレッスン。英語のレッスンは今日を入れて後３回、レッスンがあるとＮＳＣには午前中しかいられない。はやく終ってほしいと思う反面なかなか役に立つ。特に、レターやレポートとの形式について習った事が今後役に立つかもしれない。今日も、レポートの形式の授業だったが、初めて「カーニング」の意味が分かって感動。ワードにあるメニューでずっと分からなかったからな。ワードは使用法が分からないのが酷いと思うのは自分だけではないだろうが、英文のレターの形式を知っていればすんなり使えるのだろうか。

ところで、昨晩から今朝はインターネットが使えなかった。サーバーまでは接続できるのだが、こちらからの送信に対して、受信が止まった状態だった。料金を払った直後だから、繋がってほしいものである。

大洪水
20040507





今朝４時半頃、ブシューという大きな音で飛び起きた。主寝室に続くバスルームでトイレの水道管が外れて噴水。たちまち床は洪水であった。ずぶ濡れになりながら元栓を締めて、ありったけのタオルでふきとった。タオルを洗濯する音と体が濡れたので、その後は寝られず、ついでにお腹もこわして不機嫌であった。しかし、ムルングシのメインテナンス責任者に宛てて、壊れた部分の写真を添えたレターを書いた。レターは庭師に託して、１３時に戻ってくるので、そのとき修理して欲しいと伝えてもらった。

ＮＳＣでは、今日がジュニアボランティアの研修最終日なので、カブロンガ女子高へ行くと簡単に伝えて出発。今日は、数学の授業と料理のプレゼンテーション、１年の経験のある隊員の電気回路の授業を見学。こちらでは、実験はほとんどしないそうで、電気回路を組んだことがある生徒はいますか？という質問にはだれも返答なしだった。でも、立派な電流計と電圧計があった。発問や説明が手馴れているので感心した。

ＮＳＣのオフィスでは、部屋のレイアウトと教材のデザインをメモして、借家へ戻った。

１３時きっかり修理工が来てくれて、配管を交換して終了。でも、パッキングが合わないので、古い配管のをそのまま使った。

１５時から J***事務所で、英語のレッスン（これを入れてあと２回）メモやミーティングのお知らせの書き方を習った。でも、今日のレッスンは４５分で打ち切った。それは、先生のトヨタのピックアップ（こちらでは、農業や商業用の実用車をユーティリティーヴィークルというようだ）のギアがおかしくて困っていたからだ。なんとか事務所までたどり着いたが、もう動かない。日曜に農場へメイズ（とうもろこしの品種名、こちらの主食）の収穫に行かなければならないそうだが、それも叶わない。事務所で工具を借りて、自分のドライバー（一応メカニック）が車の下にもぐって外から直せるか試みたがだめ。結局、周囲にフェンスがあって、警備員のいるこの事務所の駐車場に月曜日まで車を置いて、月曜にドライバーがギアボックスを開けて修理を試みることになった。エンジンルームを覗くと日本語表示もあるし、車はＴＯＹＯＴＡと大きく書いてあるけどこの車は、南ア製、長く働いているりっぱな車両だった。その後、先生を自宅まで乗せていって、今週の業務は終了。

ネットにアクセスできなかった休日
20040508
今日は一日中ウェブが使用できなかった。こちらから送信しても、サーバーから受信できなかった。よくあることだそうだが、zamnet は一番古いプロバイダなのでサーバーが古いのかもしれない

近くのスーパーまで車で出かけるつもりだったが、道を間違えて都心方向までドライブ？ほとんど迷子の状態だった。日本は交差点ごとに標識があって、分かりやすい。こちらでは、低い所に通りの名前が書いてある札があるだけ。結局５０分ぐらいうろうろして、やっと地図と自分の位置を合わせることができて、無事に戻った。

昼食と夕食は中華料理。昼食は一人でレストランに行った。ホテル滞在中以来初めてであった。お店の名前は日本語にすると、「中国中華料理レストラン」。夕食は、他のＳＶととったが、人によっては週一度の情報交換の好機だそうだ。

今日は日向に出ない限り、日中でも上着が欲しかった。地元のコンパウンドの方々は夜冷えるだろうな。南十字が綺麗な夜だった。

20040509
向かいのＩご夫妻からいただいたマンゴーを食べて朝食。うまかった。ご自宅の庭になったもので、他にバナナも金曜日にいただいた。シーツの洗濯とパジャマの洗濯。パジャマは漂白剤でまだらになったので、全部漂白して違う色になった。こちらの漂白剤は強い。（使い方を間違えただけだろうけど）

紅葉・黄葉が見られます
20040510
今週から本格的に作業のつもり、午前中、これまでの活動記録と今週の予定を整理。（英語の先生に教わったフォーマットで）
それ以外は、テクニシャン達と雑談したりしてすごす。ＮＹの口座からお金をこちらの銀行に送付する書類を準備した。その他の書類の準備も少しずつ始めた。

業務費の小切手をもらったが、自分のクワチャ口座に入金する形式。そんな口座はもってないので、口座をつくるところから始めないといけない。必要なものの購入は、当面、自分で立て替えるしかなさそうである。
そんなわけで、口座をつくるのは明日にして、使用人のためにストアルームの整備に時間を使った。昨日の午後に延長コードを購入して、それをストアルームまでドアの隙間を使って伸ばしておいた。
今日は、冷蔵庫を一つ空にして、彼らが使えるように移動してもらった。庭師とドライバーにゴム手袋をさせて、次亜塩素酸で冷蔵庫内を拭いてもらってから使用開始。ついでに、食品を入れるプラスチックの箱も購入して渡した。

ところで、今日になって気づいたのだが、朝晩の冷え込みで、茶色や黄色になった葉が目に付く。この時期と９月頃にも黄葉・紅葉？するそうだ。

今日から地元の学校が始まった。ＮＳＣに隣接するカブロンガ男子高校では、月曜は７時半から開始。パレードをしてから授業らしい。それ以外の平日は８時からだそうだ。
庭師も子供の制服代が必要と相談を持ちかけてきた。新学期である。

検挙された？いや賄賂を取られたようだ
20040511

　ＮＳＣに出かけて、所長に小切手を現金化するのにクワチャ口座が必要だと話したら、彼が銀行に口座開設のため一緒に行ってくれると快く承諾してくれた。
　ということで９時に出かけることにして、その前に自動車の名義変更の書類をつくった。（まだ日本に送っていなくてすいません）

　出かける準備をして所長を呼びに行くと、前任者の依頼で日本から彼に買ってきたデジタルカメラの代金を現金で払ってくれた。
　帰国までにもらえればいいかなと思っていたから、まとめてもらえたのでちょっとびっくり。所長はタウンでデジタルカメラのケーブル類を買いたいので３箇所ほどまわりたいとのことだった。

　彼の車（ＮＳＣのもの）についてきてくれと言われたが、トランスポートのトラブルということで、結局こちらの車に彼を乗せて出発。

　マンダ・ヒルのＳＣ銀行は９時３０分から開く。所長がしてくれたのは、どの席で待っていればいいか聞いてくれただけ、結局、自分で説明を聞いて、申込書を貰った。小切手の換金には１週間以上かかりそうである。小切手帳が使える口座開設には、まずＫ１００万預金しないといけない。あわせて、旅券、借家の契約書と家賃の領収書、仕事先などからの証明書２通、それに申込書と写真２枚が必要。また、英語の先生に聞いて作成しなくてはならない。

　その後、所長は、ＧＡＭＥ（ホームセンター）とタウンの電気店を２軒まわって、首尾よくパーツを購入したようで、ニコニコしてＮＳＣに戻ろうと言った。
　ちょっと気分が悪くなったので（体調が変で）、ＮＳＣから J***事務所へ、しかし調整員のＤさんは出張で不在。証明書を頼りがいのあるＨ氏の方にお願いしてムルングシへ一旦戻った。

　結果的に借家に早く戻ってよかったようだ。ＺＥＳＣＯ（電力会社）の所員が登録用書類を取りに来た。彼は、玄関に登録済みの紙片を貼って行った（ＮＨＫみたい）。
　その後、昨日ムルングシ村のオフィスに出したレターに応えて、電気のテクニシャンが３名と水道のテクニシャンが１名来てくれた。電気は、電球のソケット交換と居間の外の軒下にある蛍光灯の交換。前者はすぐに交換が終了したが、後者はテニクシャン自身がレポートを幹部に出してからでないと交換できないとのこと。また、以前から頼んでいた使用人用のストアルームの照明は、これまたたくさんのレターを書いて、たくさんのサインを貰ってからになるそうだ。でも、ちゃんと設置してもらえそうである。今の所は。
　水漏れのあった件（くだん）のパイプは、完璧に修理してもらえた。パーツを取りに事務所に一度戻ってくれたりしてがんばってくれたので、ちょっと心づけを渡した。

　修理が長引いて、英語のレッスンには遅れそうだったので、先生に電話してこちらから先生の大学のオフィスに向う旨伝えておいた。しかし、運転手とオフィスに向う間に、警察の検問にあって、車両検査の表示が期限切れだと言われた。運転手は、検査済みの書面を見せたが、それをウィンドシールドに貼ってない！とニャンジャ語で言っていたそうだ。後で英語の先生と他のＳＶに聞いて分かったが、彼に落ち度は無く、車両検査の職員が、ウィンドシールドに貼る円形の紙（ディスク）を渡さなかったことが原因。それと警官が小遣い稼ぎのために因縁をつけてきたからだということだった。急いでいたので、しぶしぶ罰金の５４０００を払って大学に向ったが、領収書を貰えなかったのは賄賂の証。（１３５０円位です）あるＳＶは進入禁止の道路に入ったとたん２００万出せと言われたこともあるそうだ。そういうときには、一緒に本署まで行こうと言えば良いと教わった。

　かなり遅れて、ＵＮＺＡの成人教育（生涯教育？）の責任者である私の英語の先生であるムンガ氏のオフィスに行って、ちょっとしたプレゼントを渡した。それと、警官の件、彼の車のギアボックスの話などをした後、大学を案内してもらった。このブランチには彼が責任者である区画（とても広く学生や職員用のホステルもある）の他に、ザンビア最高の医学部と付属病院がある。まあまあ清潔な印象だったが、家具類はくたびれていたし、実験設備もちょっと古かった。

　今日で英語のレッスンは終わりと思っていたが、先生と日時を打ち合わせていたの最後の日後だったということだけだった。明日・明後日もレッスンが続く。先生のオフィスにいると間断なく電話がかかってきた。J***事務所で英語のレッスンをする時は、そういった雑用から離れられるのだな。

今日もあっちへ行ったりこっちへ行ったりだった
20040512
　ＮＳＣでは、昨日の経緯を所長に話したり、テクニシャンと挨拶しただけで、すぐに J***事務所にコピーをとりに行った。
　業務費のことで相談したところ、今回は事務所で換金してくれるとのこと。
　でも、折角だからスタンダード・チャータード銀行のマンダ・ヒル支店でクワチャ口座をつくることにした。
　書類を揃えて持っていって、１００万のデポジットで口座開設完了。ちょっとあっけなかった。

　預金してしまったのと、警備会社の費用（約６０００円）を納めたので、手持ち資金がない。
　当面のお金を日本の口座から当銀行のＡＴＭでおろそうしたが、この支店のＡＴＭはトラブルでだめ、アーケード（ムルングシ村に一番近いショッピングセンター）まで移動して、そこのＡＴＭでチャレンジ。ちゃんとおろせて一安心。

　少し早めの休憩をとって、午後はタウンへ活動資材を購入に行った。
　でも、目的のハードウェアショップ（ペンキ・金物）は戸締りしてあった。２時まで昼食だそうだ！
　３時から英語のレッスンなので、少しでも早めにお店を回りたかったのに失敗。その後、見積りをとった他の店に行ったが、やはり昼食。
　結局、唯一開いていた教材店によって、アルコールなどを購入。J***事務所へ向った。

　事務所では、労働許可書ができているとのこと。取りに行くのに旅券が必要なので、借家まで取りに戻ることになった。その前に旅券のコピーをチェックしたら、ビザ？が切れている。違法入国者状態！とにかく、こちらのスタッフのＰ氏（１９６６年から当地に住んでいる英国人、昔はステーキ１ポンドが５シリングだったそうだ。ルサカは電気も公共交通もない小さな町だったとか）と旅券をとりに借家へ行って、その足でイミグレーションへ出向いた。

　労働許可書は、内容を確認してから、写真にスタンプを押して、プラスチックのシートで主要なページを封印してできあがり。でも、写真にのりがつけすぎで、反対側のページの紙が張り付いてきたない仕上がりだった。Ｐ氏はビザの延長もジョークで切り抜けてくれたようで。罰金（うん百万だそうだ）無しでＯＫだった。

　事務所に戻って英語のレッスンを受けたらもう５時。運転手は車両検査済みのディスクをレッスンの間に入手できたようで、一段落であった。でも、罰金の領収書はまずもらえないだろうとさ。

ザンビアの高校生の成績は新聞に公表される！
20040513

　庭師が朝かなしい知らせと言ってきた。
　彼の兄（享年３０歳程度のはずである）がキトエで昨日他界したそうだ。
　交通費を工面してほしいと相談されて、いくばくかを用意した。
　一部は香典、一部は彼の退職金の前借とした。それにしても葬式の多い国である。この国の将来はどうなるんだろう。
　金曜日から日曜日にかけて妻と往復するそうだ。（バスで５時間かかる）４人の子供はその間、こちらの親戚にあずけるそうだ。

　ＮＳＣにまず行って、語学研修の報告書を作成。そうこうしているとエグゼクテブ・オフィサーがおはようと言ってきた。
　雑談していると、オーストラリアに留学したいので奨学金の制度を探しているとの事。
　彼は､子供の時のポリオで松葉杖生活だが向上心に溢れているようだ。
　これからインターネットで探してみよう。（たとえだめでも）
　木工部門の責任者のチョンゴ氏に塗装室を見せてもらった後、所長に挨拶してからタウンに買出しに行こうとしたが彼は不在。結局、司書を一人ＣＤＣ（教育課程開発センタ）まで乗せて行った。
　ＣＤＣの後、タウンでペイントとポリエチレンシートなどを購入。まだ立替なので財布が厳しい。
　でも、ルサカ・ハードウェアはインド人経営だがフレンドリーだった。

その後、ＮＳＣに荷物を置いてからちょっと休憩して、英語のレッスンに向かった。レッスン前に、調整員のＤさんに書類２枚を渡されて、それを記入した後、最後のレッスン。今日は、異文化交流について。後半は、当地の新聞のページをめくりながら有用な情報について助言を受けた。

株式市況のように見えたページを良く見たら、それは、高校生の全国試験？のテストの結果だった。しかも受験番号のとなりには実名と科目毎の成績が１－９の数字で示してあった。１が一番良くて、６までが合格、７－９は不合格のようだ。就職のとき、履歴書にある成績が新聞と照らし合わせてチェックされるとか。２－３０年前からのことだそうだが、信じられない！公立学校より、教会の学校の方が全般的に好成績だった。うーん。

夕方の散歩でN氏に聞くと、N氏の職場で、学校の先生が何日も缶詰になって採点していたそうだ。計算機処理しないなら全国試験はそうやって処理するしかないだろうか。それにしても、個人の成績が全国民に見られてしまうとは。びっくり！

今週も終了

20040514

ＮＳＣで、来週と４－６月の予定をメモして、所長にわたした。

エクゼクティブ・オフィサが昨日、オーストラリアで勉強したいので、奨学金の資料が欲しいといってきた。ウェブで援助してくれそうなところをひろって、彼に渡した。

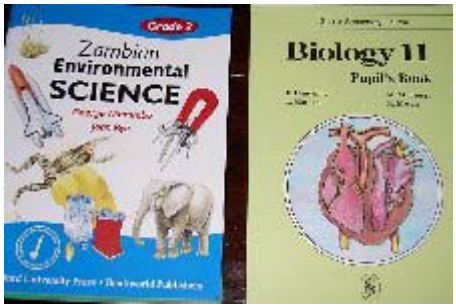
業務費で購入するものを整理したり、手紙の準備をしたりしていたら、午前中は終わり。８時から１３時までがこちらでは午前中の業務。１３時から１４時までがお休みのようだ。

午後は J***事務所で業務費を現金で受け取って、少し買い物をして来週に備えた。来週こそ、オフィスの整備をしよう。

教科書買ってみました

20040515

こちらの来てから土曜日ごとに休んでいる。これまで考えられなかったことなので、怠けているような気もするが、健康管理のためにのんびりさせてもらおう。（そんな気持ちではいけないのだが）朝は、普段よりゆっくり起きた。でも、６時。身支度をしてからマンダ・ヒルで買い物。



小物を整理する箱を１２個買った。次にマンダ・ヒルにある Book World という書店で、プライマリーとセカンダリースクール用の教科書を立ち読み。参考になりそうなものを４冊買った。

Zambia Environmental SCIENCE Grade 3,6,7,

Biology 11, Look around! 7, Biological Science Third Edition (CAMBRIDGE LOW PRICES EDITIONS)　である。

一番安い Biology 11（11 年生用生物教科書？）で 10500 クワチャ。日本円で約 250 円ほどだが、当地の人には高価なようだ。第１四半期には、まずこれだけ資料として手元に置いておこう。

午後は、ジャガイモ・ニンジン・タマネギ・牛肉と適当にスパイスを混ぜて、カレーもどき。しかし、牛肉はスジがあって噛み切れない。そういえば、ドライバーも庭師も歯がピカピカだったのは、こういった肉を噛み切って食事をしているからなのか？

１３時に警備会社が警報ボタンの点検に来ますとのことだったので、庭に散水しながら、ずっと待っていた。でも、来ませんでした。普通のことのようですが・・・・。

業務費の明細をエクセルでつくったら夕食。土曜日は中華レストランで、他のＳＶと情報交換。でも、注文前から停電。復旧後ももう一度停電。すぐにローソクをテーブルに持ってきてくれるが、小型の懐中電灯を持っていたので役に立った。ムルングシの借家はストアルーム（倉庫？）にある水タンクから電動ポンプにより屋内へ給水されるので、停電したらタンクに水があっても断水になるのだろうか。今度、他のＳＶに聞いてみよう。レストランを出たら、

コウモリが飛んでいた。近くで見たいけど、狂犬病には注意する必要がある。

なんとか日曜日が終った
20040516

今日は、タウンで買い物ができればな･･･と思ってすごした。
朝、身支度をしてアーケイド（一番近くのショッピングセンター）で買い物。
ブラビのトロイが映画館にかかっていたが１３時から。後日見たい。
夕刻、N氏に聞くと鑑賞されてなかなかよかったらしい。２万クワチャ（約５００円）。
ただし冷房が効きすぎているので羽織るものが必要とか。

そのまま J***事務所とＮＳＣまで自分の運転で行ってみた。ＮＳＣの前を通り過ぎて少し行くと日本の援助でできた真っ白な学校があった。その先まで試しに走ってみたら、未舗装。引き返した。

写真は、ＳＶのN氏に昨日いただいた手製のこんにゃく。それとこちらの新聞。新聞は路上で売っている。（ストリート・ベンダー？）POST という新聞は３０００で、他は２５００クワチャ（６０～６５円位）。でも、当地の人には高価らしくて、一部買うとまわし読みするそうだ。売り切れになったらそれでおしまい。でも、停電や断水のお知らせなど重要な情報も載っている。南アでフットボールのワールドカップ開催が決まったのは大ニュースのようだ。

午後は映画と思ったが、来週まで上映していることを希望してパス、新聞を読んで時間をつぶす。社会面？は、家庭争議？みたいなのばっかり。それと、草思社刊　シルヴィア・マーロウ著　徳岡孝夫訳の「イギリスのある女中の生涯」を読んだ。この家を使っていらっしゃった方の置いていったもの。こちらで、３人の当地の方に手当てを出して仕事をお願いしているから、本の内容と自分の雇用者としての立場を対比させてしまう。第一次大戦前から第二次大戦後までのイギリスの住み込み家政婦の仕事・待遇、当時の牛飼い家庭の生活を興味深く読んだ。母親が娘に勧める仕事は女中。それ以外の安心できる仕事は知らないから。当地で庭師・運転手・メイドとして働いている人達って、先進国並みに暮せるチャンスをつかむために何を考えているんだろう。それとも、この暮らししか知らないのだろうか。　うーん。

そうそう、朝出かける前にＺＮＢＣでタツノコプロのマッハ GO GO GO？をやっていた。新作の方だと思う。

いつもトラブルでもなんとかやっている国
20040517

今日は特に受信状況が悪い。ラジオのどこをつかんでもノイズだらけだ。
ラジオのどこを触るかで感度が上がる日もあるのだ。
こちらの夜８時から９時まで西アフリカ沖？から放送される日本語放送が聞けるのに。
今日はタウンに買出し、明日購入予定の木材以外は全部買いたいと思って出かけた。
ＮＳＣについてしばらくするとエグゼクティブ･オフィサが訪ねて来た。
ＮＳＣに二人しかいないドライバーの一人がマラリアなので教育省まで乗せてくれ、であった。
もう一人は所長とカサマ（笠間ではありません）に出かけているから。

すぐに出かけるからと伝えて、タウンに出かけるついでに教育省によって、彼を降ろした。
彼は、小児麻痺の後遺症で松葉杖生活である。

タウンでは、文房具・塗装用具等をあちこち回って求めた。でも、教材の試作用のボール紙か段ボールを買いたかったのだが、まったくだめ。文房具店で聞くと、近くの店で聞いてくれとのこと。なかったから、ここに来たのでしょ。結局午前中ずっと探して見つからず、今日はあきらめた。でも、ホームセンターの game で、製品の梱包に使われていた段ボールを１箱だけ貰った。水曜日に追加でドライバーに取りに行ってと頼む予定である。（結局貰わなかった）

ムルングシの近くまで戻っていたので借家で食事をとってからＮＳＣに戻った。オフィスの塗装に備えて小物の整理。前任者がたくさんの仕事をこなしたので、理科用の小物がいろいろある。それを小箱に整理して、部屋の塗装の準備をした。小箱が足りないので、ドライバーに大金（４０００円位）を渡して、買出しに走らせた。その間にテクニシャンが一人訪ねてきた。彼は、今月退職して、ディプロマをとるために学校に行くのだそうだ。スポンサーが見つかったとか。見積もりを取る時に助言してくれた人だったので、びっくり。（しかし、彼は退職しなかった）まだ、とっても若そう。口の周りがひげだらけだけど、円周状にここだけはというひげの残し方が印象的。そうですか！と驚いて、買ってきたばかりのスプレーガンをコンプレッサにつなぐ方法を聞いた。

彼は、塗装の達人を紹介してくれた。水曜日にお世話になりそう。コンプレッサとホースを繋ぐアダプターがないから、ホースに押し込んで、ゴムテープをホースとスプレーガンの繋ぎ目に巻きつけて使うのだそうだ。水道管にホースを閉めつめて留める金具があればいいようだな。専用のホースを買わなくてよかった。

続けてエグゼクティブ・オフィサが来て、ドライバーの不在のために明日トラックを貸せるかわからないそうだ。うちのドライバーはガバメントの車を運転する許可証がないので、運転できないと言われてしまった。まあ、明日の午後になれば状況がはっきりするそうだから、そのとき判断しよう。

ドライバーが戻って来たので手伝ってもらって小物を整理。部屋の机に箱を積み上げた、塗装の時はポリエチレンシートをかけておこう。だいたい片付けが終わったところで、木工・プラスチック責任者のチョンゴ氏が来た。彼もトランスポートのトラブルで援助を求むとのこと。じゃ、３０分後にここを出るからその時呼ぶよと伝えた。彼も乗せて借家へ向かった。グレート・イースト・ロードとのラウンド・アバウトで彼を降ろし借家へ戻った。

今日の散歩は、双眼鏡持参。他２名のＳＶと金星を見て、三日月になっているのを堪能した。

肉眼で金星の形がわかるんだとさ
20040518

木工主任？のチョンゴ氏を７：４８に途中で拾ってＮＳＣへ。
ＮＳＣからすぐに J***事務所へ行ってザンビアの運転免許手続きへ行った。
現地職員の運転する四駆の後ろを追って、最初のオフィスへ。ここでは１枚の書類にサインするだけだった。

次のオフィスは何度も行った交通省？交通省なのに駐車場は未舗装ででこぼこ！。まず、申込書の件でアプリケーションの窓口へ、次に登録の窓口へ、ここではＰＣに申請書の内容を入力。（それにしても政府の機関なのに椅子は破れたクッションだ。他でもそうなんだよ）次は写真。列に入って、辛抱強く待つ。でも、２０分以上も並んでいた白人が怒り出した。彼が質問したオフィサーは中でディスカッションしているとの答えだけ。彼は、二つある撮影ブーツの一方に強引に入っていった。覗いてみたら、笑いながら写真を撮ってもらっていた。かなり怒っていたのに、自分の番を得るとニコニコだった。

自分の番になると、白い傘を照明のディフーザーにした席に座って待った。ビデオカメラが写真を撮るのに使われるが、それ以外に白い紙に字の書けないペンでサインするのと、右手の親指の指紋を採る装置に指を置くという三点セット。これらがすべてＰＣの画面に出ているのが見れた。これらがＰＣのＣＲＴに表れた。でも、できあがったテンポラリー免許書（１ヶ月有効）は白黒だった。その後、会計の窓口（Ｋ５５０００）と、最後の窓口に行って終了。テンポラリーな免許なので、一ヵ月後にまたこなければならない。

ひたすら忍耐の午前中であった。

日本から４月２６日に発送した郵便がつかないが、J***事務所で聞いたら小包なら数ヶ月かかることもあるそうだ。

根気よく待つしかなさそうである。

午後はＮＳＣのオフィスの改装準備。室内のものをまとめて、空き部屋にしまってもらい。マスキングの準備。それとスプレーガンの練習。明日は浮き上がった塗装を剥がして、ひび割れに詰め物をした。それにしても当地の乾期は砂埃がひどい。

今日もＮＳＣはトランスポートのトラブル。２人のオフィサーが午後訪ねて来たけど、用件は帰りに車に同乗させてほしいということ。ハイハイＯＫしましたよ。　ということで、今日予定していた木材の買出しはできなかった。

ところで、今日ドライバーに金星の三日月形が肉眼で分かるかと聞いたら、わかるんだって！眼鏡をかけている人は本当に少ない、遠くまで見る必要がある人が多いのかな。大使主催の勉強会はパス。

庭師が前任者の頃から手入れしている裏庭の畑からニンジンを収穫してきた。使用人と山分け。でも、ドライバーは生でおいしい、おいしいと食べていた。これなら金星の形がわかるはずだ。（理由は考えてください）

トーマス氏は塗装の名人
20040519
今日もＮＳＣのドライバーがいないので、職員３名を拾ってＮＳＣへ。マラリアが回復に向かっているから金曜日にはドライバーが出て来れそうだとか。
昨日部屋の床の養生をしたので、今日から塗装開始。準備をしていたらトーマスさんが来た。彼はＮＳＣの塗装の一番手。でも、マスキングはどうするの？って聞いたら。そんなのやったことないとさ。

でも、６インチの刷毛で水性ペイントを要領よく塗っていった。もとのペイントを２倍に薄めて塗っていった。３回塗りするそうだ。普通は、壁の下部三分の二は光沢ペイントにするのだそうだが、全部つや消しにすることにした。その方がシンナーを吸わなくてすむから。結局今日は１回目だけを塗って、ひび割れや凹部にパテを塗りこんで終わり。明日は２回目と３回目を塗る予定。一緒にパテを塗ったけどとっても楽しかった。ひょうきん？に見えるけどすごくまじめな仕事ぶりだった。

ドライバーには電話・水道・電気の料金を納めに行って貰った。多めに支払って、バランスをマイナス（支払い超過の状態、翌月に払わなくても超過分から引いてくれる）にしておくつもりだったが、電話は足りなかったようだ。また、支払いにいかないと止められる恐れがあるかもしれない。自動引き落としはほんの一部で始まったばかりの国である。

頭蓋骨が放置されていました
20040520

今日もＮＳＣの職員を３人拾って職場へ。
昨日穴埋めした部分からはみでたパテをけずったり、たりないパテを追加していたら、トーマス氏が来た。自分でも少し塗ったが、彼の根気はすごい、黙々と６インチの刷毛を動かした。その間に、室内のレイアウトと棚類の案を考えた。

ドライバーが午前中の予定は何かと聞いてきた。特別なことはないという顔をすると、結婚の申請手続きに行きたいとのこと。公共交通機関で行くならよいと伝えた。昼に借家に戻ろうとしたら、彼のフィアンセだと紹介された。２５歳で幼稚園の先生とか。

午後も、トーマス氏におまかせ。
昨日ＳＶのＵ氏に教えて貰ったボール紙・段ボールを販売していそうな店をあたってみようかなと思っていたら、エグゼクティブ・オフィサーが訪ねて来た。
松葉杖生活だが、靴の具合が悪いとの事、まだＮＳＣのドライバーがいないので、整形外科までつれて行ってくれとのこと。　すぐに、ドライバーに指示して出かけたが、オランダの援助でできたすごく清潔な施設だったのでびっくり。　当地に来てから一番整った所だった。

ボール紙・段ボールは結局４軒ほどまわっても見つからなかった。最後に立ち寄った国立の教科書販売所（写真）では、生産を中止したとのこと。うーん、でもどこかで見つけたい。ここでは、８年生と９年生の理科の教科書を買ったが２７０００クワチャであった。高くて一般の生徒には手がでないようだ。（ちなみにこちらでは朝晩冷え込むの

で地元の人は炭で暖をとっているが、ルサカでは一袋２８０００クワチャもする）

　夕方、他のＳＶとムルングシ村内を散歩していたら、道路とフェンスの間に頭骨（しゃれこうべ）が放置されていた。明らかに人のもの、下顎はなくて、左側頭部は欠けていた。どうしてそこにあるのか分からなかったが一応ムルングシ村の警備担当者に伝えて終わり。なぜあったのだろう？

やっと合板を買いました
20040521

　もう、２１日なんだ。この頃ＰＣで書類を作っていないからわからなかった。
　今日をオフィスの塗装最終日にしたつもり。でも、巾木にあたる部分が上手にぬれなかったので来週修正が必要かも。

　８時から１５時まで塗装と掃除を続けた。あまり良い仕上がりではないが、一段落させないといけない。
　朝、作業をしているとトーマス氏が来て、何か相談のようす。彼は、床の養生につかったポリエチレンシートが欲しいとのこと。快く承諾。後で、はたいて畳んで渡しました。何に使うのかな？（ドライバーの話では雨季の雨漏りを防ぐのに使うのだろうとか、でも確かめないとわからない）

　１５時過ぎにエグゼクティブ・オフィサがドライバーを紹介してくれた。彼とうちのドライバーとともに、南ア製のＴＯＹＯＴＡダイナで出発。といってもいつ製造されたのかわからない。フロントガラスはひびだらけ、もちろん速度計は動きません。イスはやぶれてうれたんがむきだし、新品？のバッテリーを二台積んでやっと動いている感じ。すごい振動に耐えながら無事到着。

　木材販売店では、商品を確認してから支払い開始。当地での買い物はこんな感じ。まず、欲しいものを決めて店員に伝える。店員は、それを購入用の伝票に記入する。会計に行って代金を払う。ＰＡＩＤのスタンプが貰える。スタンプのある伝票を持って、品物を渡してくれる窓口に行く。やっと、商品を手に入れて車に積んで終了。ほとんどの商店はインド人が経営しているそうだ。

　写真は金星と月（月齢２位？）
　昨日の頭蓋骨は片付けられていた、U氏によるとすぐに警備担当者が来て、古い骨だなとか言っていたそうだ。結局、出所はわからなかった。

写真は南十字
20040522

　午前中は J***事務所で日本人の子供達の勉強会に付き合った。
　自分のわかる範囲だったので一安心、なかなか楽しかったが、当地でインターナショナルスクールに通い始めた子供達の焦りや苦労を感じた。それに加えての日本の勉強だから楽しかったなんて言ってはいけないのかもしれない。できるだけのことができればと思う。

　当地では、駅伝？のようなインターカンパニーリレーが開催された。借家から一番近いアーケードショッピングセンターをゴールにバトンを持って選手がリレー。ＴＶでは、それだけを延々と中継した。また、ショッピングセンタ

ー内にラインを引いてさながら日本の運動会のような競争もあった。これまた国営テレビが中継。ショッピングセンターは人だかりであった。

午後はのんびり。水性のパテで壁の穴をふさいだり、また南十字の撮影に挑戦したりした。今回は、自動撮影しかできないデジタルカメラで撮影。（Panasonic Lumix 300 万画素）ＥＶを＋２、ＩＳＯ（ＡＳＡ）４００、夜景モードで撮った。三脚がないので、小さい木製の台に、また小さい木片を支えにして写真機を立てかけて、セルフタイマーにして手振防止。今日は、地球照がすごく綺麗だったので、明日撮影できるといいな。だめなら来月かな。

風の強い日曜だった

20040523

今日発見したのは、スーパーの牛乳はボトルごとに量が違う、牛乳パックはもれているのがある、葉っぱに擬態したバッタいる、コクゾウムシの仲間、中国製？ラーメン等々だった。

起床して、洗濯。ご飯を炊いて冷凍。お米には、コクゾウムシ。実体顕微鏡の下において、接眼レンズに近づけたデジタルカメラで撮影。

マンダ・ヒルで実験用具を分ける小箱等を購入。日曜は早めにマンダ・ヒルに出かけるに限るようだ。やっと車で買い物するのに慣れてきた。

アーケードへ移動して、お金をおろして給油（１リットル４０８０クワチャ、約１００円、先進国並みに高価）してからカブロンガのスーパーへ。できたてのパンを販売していると聞いたので、丸いパンを一袋購入。

その後、星野写真が取れる暗い場所が近くにないか、グレートイースロードを１５キロほど東進。国際空港の先まで出れば夜は真っ暗かな。それだけ確認して戻った。でも夜出るのは情報を集めてからにしよう。農場は、延々と続く高圧電線で守られていたのが印象的。当地の人はまっすぐに続く道を延々を歩く。

ドアのパネルを買った

20040524

ＮＳＣ（国立科学センター）に出かけて、自分のオフィスの塗装の確認。

巾木に当たる部分の塗装に使ったマスキングをはずして、塗装完了（のつもり）

午前中は、レイアウトの変更。リソグラフ、キャノンの大型プリンタ、キャビネット、本棚の位置を変更。

棚類に溜まった埃を払ったり、別の部屋に保管していた資材を移動したりした。

１１時頃、もう一つ残っていた買い物に出発。材木店でドアのパネルを購入。１９９１年製のサニーにやっと入る大きさだった。７５０００クワチャだったけど、車に積むのに手伝ってくれた店員にちょっとだけチップを渡したので７７０００クワチャの出費だった。実は、オフィスのドアには大きいのだが、電動ノコギリで切ればよいのだ。ＮＳＣの電動ノコギリを使いこなせるようになりたいと思っていたので、よいチャンスでもある。

それ以外に、木ねじ、ベニア・ストリップ（ラミネート合板のラミネートしていない部分に貼るテープ）などを買った。

ムルングシ村の借家で休憩の後、実験道具の材料に使うつもりの黒い布と白い布を買いに行った。当地の人にとっては高価かもしれないが、サンプルづくりに必要なので出費。黒２m、白２mで７５０００クワチャ。それと、プラスチックの段ボール・ボードがないかドライバー

に聞くと、Auto World （自動車用品店）にあるという。しかし、そこでみたのは、割れた窓ガラスの代わりにするアクリル板だった。彼は、明日タウンで探してくれるとさ。

ＮＳＣに戻って、テクニシャンから電動ノコギリの使い方を聞いて、ドアを切ってもらった。自分でやるのは次回になってしまったけど、やりかたは分かった。明日ためしてみよう。日本のホームセンターにある歯の方が動くタイプではなくて、歯は固定されていて、木材を人力で押していくタイプ。スウェーデン製だけど、ＮＳＣの工房で最も重要な機械だと思う。

明日は、アフリカ・フリーダムデーでお休み。それを利用して、ＮＳＣの電源を全部落として、部屋の電気の配線を短くするつもり。どのブレーカーを切ればいいかわからないので、結局、誰も来ない日を選ぶことにした。門番の人には伝えておいてくれるそうだ。

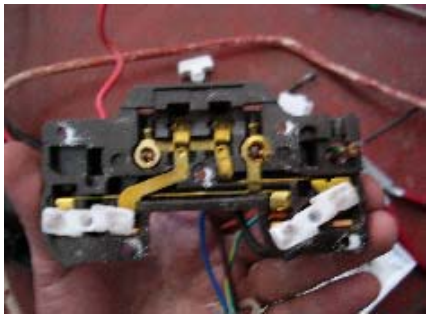
アフリカ・フリーダムデーのお祝いは、博物館の前にある銅像（腕にからまっていた鎖を引きちぎる男性の像、お札に印刷されている）の前で歌や踊りがあるらしいが、詳しくはわからない。明日のＴＶで確認してみよう。

ところで所長と配線をチェックしていたら、電話と電気を受ける部屋で、りっぱな発電機を発見。まだ、ピカピカで燃料もあった。でも、出力ケーブルをたどってみると、切断されていた。うーん、もったいない話だな。（こういうことはザンビア中にあるそうだが）

いつも、散歩で挨拶しているインド人が木曜にインドに帰るそうだ。２匹の犬をつれていて、犬に挨拶するのが楽しみだったのに、ちょっとさびしい。もうこちらには戻ってこないとのことであった。

ところで、何十匹も猫を飼っている猫屋敷もムルングシ村には一軒あります。

アフリカ・フリーダム・デー
20040525



アフリカ・フリーダム・デーは、休日なので少しのんびりして、ＮＳＣへ。
ゲートの担当者がちゃんと開けてくれて中へ､でもワークショップの照明はついたまま｡セキュリティのためかな？今度聞いてみよう。

電源を全部落として、電気の配線を直す。こちらの電気の取り出し口はどれもスイッチがついている。線を短くするだけなのだが、取り出し口を分解して、元に戻すのがなかなかたいへんだった。スイッチは銅板が梃子で動くだけの簡単なものだが、一度開けてしまうと要領がわかるまで時間がかかった。それに配線に使われている銅線が、太い銅線に被膜があるだけのもの、柔軟性がなくて取り回しが面倒だった。配線を短くして、なんとか２つの取り出し口を直したらもうお昼過ぎだった。電動のこぎりで合板を切ろうと思ったが、１８ミリ厚１２２０ミリ×２４４０ミリは重い。人手のあるときに手伝ってもらうことにした。

ＮＳＣを後にして、明日の作業のためにマンダ・ヒルで買い物。ドアを塗装するヴァニッシュと、ノミ、木ねじを買った。でも、いくらさがしても釘が見つからない。これはタウンへ行くしかないようだ。休日は１３時閉店。閉店の放送が流れるので急いで会計して終わり。

午後は、これまたインスタントのパスタ＆ソースを試した。庭から収穫したネギ・ニンジン・ベーコンを足して、指示通りに作った。４０００クワチャで買ったメラミン樹脂のどんぶりがよくマイクロウェーブに耐えて、ちゃんとできました。当地では、商品の金額を直接商品に書いてあることがよくある。このお皿もそうだった。幸いエタノールで消したのだけど、一般の人はどうするのだろう。

写真はＮＳＣのワークショップ
電気の取り出し口
塗装の終ったオフィス（まだ改装中）
昨日見つけた発電機

ベルトが…
20040526

休日が開けて再びＮＳＣへ。
ドアのパネルにヒンジとカギをつけるためにノミやドリル、ジグソウをふるった。
木材が軟らかかったので、比較的簡単に終了。ドライバーにヴァニッシュでの塗装を頼んだ。

電動ノコギリをテクニシャンが使っている間に、本棚や実験台用の合板の切り方を図面にしていた。
１０時過ぎに、なにやらトラブルのようす。電動ノコギリのモーターと回転歯をつなぐベルトに傷ができて、使用しているとはずれてしまうのだ。これが使えないと、本棚も実験台もつくれない。ベルトを一旦はずして、また取り付けてチェックしたが、回転しているうちにずれてしまうことがわかった。

自分から申し出て、タウンに買いに行くことになった。結局、午前と午後に７軒を回ったが、ピッタリのベルトは残念ながら見つからなかった。当地では、機械用のパーツを自給していないのが最大な問題だと思うが、現実問題として最も利用可能なパーツを買わなくてはならない。ということで、自動車用で、最も大きさが近いベルトを購入。明日うまく動いてくれることを願おう。

最後に顔なじみになったルサカ・ハードウェアでネジ・釘を購入。５２５００クワチャだったけど、２５００クワチャまけてくれた。インド人のおじいさん、ありがとう。

散歩で毎日出会う、犬を二匹つれてくるご婦人。明日朝インドへ帰るとのこと。永遠にインドですって。明日は、ノコギリが動きますように。

ノコギリ動きました
20040527

今朝はＮＳＣに早めに出かけた、自分で運転してドライバーは助手席、ＮＳＣにドライバーを残して彼にドアの塗装（２度塗り目）を頼んだ。
自分で運転して J***事務所へ。ＳＶ連絡会は８時半から９時半までの予定だったが、結局１０時に一段落。
いろいろ意見が出たり、質問があったりであった。ＳＶは当地で利用できる活動費が少ないので、当地に貢献したくても物品を購入して貢献できない等々、などが次々に出た。人的に貢献する場所や機会の選択をどうするかとか、他国と協調して援助する困難についても発言があった。

J***事務所出たときは肌寒かった。アフリカも寒いんだ！とあらためてびっくり。

ＮＳＣに戻り、電動ノコギリの様子をチェック。ドライバーによるとストア・ルームを誰かが調べたらベルトのストックがあったとのこと。でも、１３ミリのスパナが無くて、ベルトが交換できない。それならということで、マンダ・ヒルまで買いに行った。ついでにマンダ・ヒルではＳＣ銀行で小切手帳のことを聞こうとしたけど、混雑しているからやめた。スパナを買って、ＮＳＣに戻り、テクニンシャンに渡した。

お昼にかけて、ドアの蝶番を元に戻し、ドアを取り付けた。蝶番のつける場所を間違えて、直さなくてもいいのに、ドアを削りなおして失敗。でも、なんとかできました。今夕からカギがかけられた。

電動ノコギリは午後には復活。復活を待つ間にドイツ製の別のノコギリ（まっすぐ切れない）で４ミリの合板を切って、机の引き出しに使う間仕切りを作った。作っていたら、テクニシャンがヴァニッシュを塗りつけるべきだと助言。別のテクニシャンが回路学習器のヴァニッシュ塗装をするので、一緒に塗装してくれるように頼んだ。彼らは屋外でスプレーガンを使って塗装する。当地では環境問題は一部でしか騒がれていない。

木工のテクニシャンはこんな話をしてくれた。ある運転手がスピードを出しすぎてロウド・ブロック（警察の検問）を突破した。警官が銃を取り出したので、運転手は、ブレーキをかけて、リバース（バック）した。警官はいきなり前の右座席の人（普通は運転手）を平手で殴った。ところが、左ハンドル車！運転手じゃなくて、乗客を殴ってしまった。　警官は簡単に謝り、行っていいよ！だって。本当にあったのかな？ありそうだな、当地では。

このテクニシャンは私がお願いした合板の裁断を明日やってくれるそうだ。なかなか腕がよいので楽しみだ。

LBTC の見学
20040528

ＮＳＣに出かけて、机の引き出しに昨日作ったパーティションを取り付けて小物の整理をした。
前任者がたくさんの資料・教材の材料を残してくれたので、それらを自分で整理しなおした。（部屋の整理前にドライバーに頼んだのだけど、やはり自分でやらないと自分のやりかたに収まらない）
結局午前中いっぱいかけて一段落。

今日もエグゼクティブ・オフィサがＮＳＣの運転手一名が葬式に出席して不在なので、トランスポートを頼まれた。こころよく承諾。

そして、今日こそ合板をテニクシャンに切ってもらおうと思っていたら、ワークショップ内で水漏れ。片付けに時間がかかって、正午前から裁断を始めてくれた。１５時からＳＶの勉強会でU氏の勤務先に行くのと、銀行に小切手帳の確認などに行くために、１２時半頃ＮＳＣを出なくてはならなかった。そこでテニクシャンに裁断をお願いして、「また来週ね」と挨拶。明日（土曜）午後から出てくる旨をゲートの門番に伝えた。

借家で休養（ドライバーの食事のため）の後、マンダ・ヒルのＳＣ銀行に寄った。結局銀行に１時間いて疲れた。銀行にはデスクが３つと、預金や引き出しのカウンターが４つある。デスクにならんで、残高確認と、小切手帳がいつできるかを聞いた。ＮＹからお金は移動していたが、小切手帳は来週だそうだ。先週水曜日にお願いしたけど、なか７日ないとできないとか。また、来週こなくてはいけない。小切手帳がないと家賃が払えない。それと預金を引き出すのにも、列がなかなかすすまず、辛

抱強く待つしかない。うーん、のんびりしているし、我慢強くないとやっていけない。

　ＳＣ銀行で手間取ったので、１５時集合のＳＶ勉強会にぎりぎり間に合った。ＬＢＴＣ（ルサカ・ビジネス＆テクニカル・カレッジ)、U氏の勤務先は、１９５６年（植民地時代）に創立された職業訓練学校。２００１年になって現在のスタイルになったそうだ。ＮＳＣに比べて、清潔でととのった機材にびっくり。特に、木工の実習室にある切りくずの吸塵器がうらやましい。ＮＳＣでは頭にタオルを巻いて、眼鏡とマスクと耳栓をしてのこぎりやサンダーを使っている。せめて吸塵器があればと思った。

　この他に、ケータリング（調理)、自動車整備、レンガ積み、パイプ・ブリキ加工、木工、美容、服飾、水質検査、電気配線、図書館などを見学してたくさんの刺激を受けた。U氏に感謝！勉強しているところでは、しっかりやってるんだな。ちょっと安心したりうらやましかったりした午後であった。

木ねじの頭に溝が無い！
20040529

　今日は最終土曜日なのでチャーチ・マーケットに７時半に出かけた。カブロンガ男子高校・カブロンガ女子高校の向かいにある教会が会場なので、ＮＳＣのすぐそば。男子校の駐車場に車を停めて歩いて行った。８時から開場との掲示があり、２０００クワチャを払って見学。前回より落ち着いて見られた、でも今日は何も買わずに見学だけだった。８時半には移動して J***事務所での日本人子女の勉強会を手伝うためだ。でも、一応再入場できるスタンプを手の甲に押してもらった。

　今日は、触媒や酵素、一次方程式の練習をちょっとして、その後は国語の授業を見学（担当の生徒さんは３名ですが)。インターナショナルスクールでの授業は英語が大変そうだ。

　お昼はスーパーの惣菜ですませて、１２時半にドライバーとＮＳＣへ。昨日木材を切ってもらえたので、今日は電気と電話の配線を隠す箱を作った。まず、箱を組み、ドリルで釘や木ねじを通す穴を開けた。その後、箱を取り付けるコンクリート壁にドリルで穴を開けて箱をつけた。あらかじめあけた穴に釘や木ねじをつけてできあがり。３箇所つくるのに３時間位かかったが、まあまあのしあがり、素人だからこれでよい。

　ところで、木ねじの頭が釘のように平らなものがあったり、マイナスの刻みがねじ毎に場所が違ったりしていた。手作業でつくるのかな？

　帰りにガソリンを入れた。ムルングシ村に一番近いスタンド。１リットル４０８０クワチャ。このスタンドは昨年、ＡＫ４７を持った強盗に襲われて３０００万クワチャ奪われたそうだ。警官が一人銃撃で亡くなったとか。だから、スタンドの周りには警官が多いのだそうだ。

　ところで、J***事務所のエアコン室外機についていたこの虫はなんだろう？

机だけちゃんとできました
20040530
日曜日は朝、シーツの洗濯。それ以外に結局 2 回洗濯してからマンダ・ヒルで買い物。
　実験用の薬品が入れられるプラスチックのトレイなどを購入して、ホームセンターである game の開店を待った。
　待っている間に、３名の協力隊員と雑談。２名はルサカでなく別のプロビンスからバスで来ていた。今日はバスで任地に戻るのだそうだ。ルサカ近郊のＴ君を含めて全員が理数科教員だった。Ｔ君によると週当たり最大で４８コマ授業を持ったことがあるとか。ちょっと以上な数であるが、生徒が教科書を持っていないので、教科書の内容を黒板に書いて、それを生徒が写している間も授業なのだそうだ。そうやって、なんとか乗り切ったそうである。それにし

ても多すぎる。

協力隊員の家は寒いのだろうか、３名ともしっかり着込んでいた。
Ｔ君は毛糸の帽子に襟巻きであった。

午後少し前にドライバーが来たのでＮＳＣに向った。当地の人々は日曜の９時から１０時半頃までは教会に行くのが普通のようだ。ドライバーには教会が終ってから来てもらった。

結局、午後は１２時から４時半までいて実験台（６０センチ×２４４センチ、高さ７７センチ）と本棚を一つ作った。実験台の上にのせる本棚は、支柱の切断を依頼していないことが分かってまた明日。なかなか進まないけど、ちょとずつ形になってきたかも？しれない。

本棚できました。椅子を買いました。寒かった。

20040531　こちらの時間では５月の最終日。７時４０分頃にＮＳＣに入って、昨日作った実験台の上にのせる本棚の製作。まず、壁側になるボード（本棚全体と同じ大きさ）に、支柱と棚になる部分を鉛筆で書き込んだ。それを裏返して同じように、書き込んだ。これで１時間終了。

その後、１８ミリのラミネーテド・パーティクルボードを鉛筆で描いた線の上にのせて、木ねじを通すための穴を錐であけた。（もちろん電動ドリル・ドライバ使用）しかし、１８ミリのボードが足りない事が判明。そこで、６ミリのボードを３重にして代用しようと考えテクニシャンに裁断を頼んだ。でも、６ミリ＋６ミリ＋６ミリは１８ミリのボードよりはるかに厚い。そこで４ミリの合板を利用して、６、４、６ミリと貼り付けることにした。これがばっちり成功。

ということで、結局午前中いっぱいかかって、横２４４０ミリ、高さ１１６０ミリ、奥行き３０ミリの本棚が完成（まだ仕上げが残っている）結局、怪我の功名のような形で希望していた本棚になった。明日は、ラミネートしていない部分に、ベニア・ストリップを貼り付けよう。仕上がった本棚は、今いる全員のテクニシャン（といっても３名）とドライバーに手伝ってもらって、昨日作成した実験台にのせた。まあまあでしょう。

そのあとテクニシャンに先週末にＬＢＴＣに出かけて、木工部門に切りくずを吸い取る機械が完備されていることを話した。そうすると、ここにもあるが、コードが短くて利用できないとのこと。では、タウンで探そうということになった。（この日は発見できなかった）午後は、必要な追加機材の買出し、壁紙・接着剤、オフィス用の椅子などを購入して終った。